

□議員名：古豊和恵

1 災害時における逃げ遅れゼロ達成のための避難経路について

論点	避難の必要な市民にどのような方法で周知したのか。
回答	高齢者等避難発令時は記者発表、市の防災メール、市の公式LINE、市のホームページ、防災ラジオ、緊急速報メール、防災アプリ、Jアラートを使用して早めの周知を行った。

論点	避難経路は安全に避難できるように設定されているのか。
回答	市が発令する避難指示等は危険区域に居住している市民に対し、知人や親戚の家、ホテルなどの民間施設、市指定の緊急避難場所、2階など安全な場所に避難してくださいと知らせるものである。避難場所は各家庭で実情に応じて検討してもらう必要がある。

論点	J R長府駅のようにJ R小野田駅も南北の連絡通路を新設すれば、徒歩で避難する人の新規ルートとなり、避難時の安全性が向上し、周辺地域の活性化にもつながると思うがどうか。
回答	避難ルートの増加は防災の観点からも好ましいとは考える。しかし通路の新設はJ Rの意向もあり、仮に設置する方向であっても相応の期間を要するため、J R小野田駅の連絡通路の有無に関わらず、各家庭の事情に応じて避難経路を検討していただきたい。

論点	安全に避難するためにも、避難経路を示す蛍光看板を設置してはどうか。
回答	当然メインの避難経路はあってもよいと思うが、逆にそこをみんなが目指すと危険なことになる可能性もある。経路をメインにつくることは今の時点では考えていない。